

第4回補助26号線沿道地区街づくり懇談会 次 第

日 時：令和元年10月20日（日）9：30～12：30
会 場：池之上小学校 家庭科室

1. 開会
2. 街歩きの進め方について
3. 街歩き
4. 第3回街づくり懇談会の振り返り
5. 意見交換 街歩きを踏まえて気付いた
『補助26号線沿道地区の将来像』について
6. 街づくりアドバイザーより 国土舘大学 寺内教授
7. 閉会

第4回
補助26号線沿道地区
街づくり懇談会

令和元年10月20日

本日の流れ

1. 開会
2. 街歩きの進め方について
3. 街歩き
4. 第3回街づくり懇談会の振り返り
5. 意見交換
6. 街づくりアドバイザーより
7. 閉会

2

街歩きの進め方について

本日の流れ

09:35頃～ 街歩きに向けたご説明

- 街歩きの目的と、本日歩いていただくルート、ルートの中で確認していただきたいポイントをご説明します。

09:55頃～ 街歩き

- 「確認ポイント」を中心に、現地を歩きます。

11:30頃～ 意見交換

- 街歩きを踏まえて気付いた『補助26号線沿道地区の将来像』について話し合います。

実際に街を歩いて…

- これまでの懇談会でご意見を頂いた箇所について、実際に見て共有する
- 補助26号線の位置や幅等について、現地で確認していただき、沿道の将来像のイメージを共有する

街歩きのルート

> 配布資料『街歩きマップ』参照

- ルート上には、これまでの懇談会でご意見をお聞きした12か所を『確認ポイント』として設定しています。
- 道路整備によりつながる“ひとつの沿道”として、将来像を話し合っていたため、南北両方のルートを歩いていただきます。



↑ 配布資料『街歩きマップ』

街歩きの持ち物

- 『街歩きマップ』
- ボールペン
- 下敷き（段ボール）
- ふせん



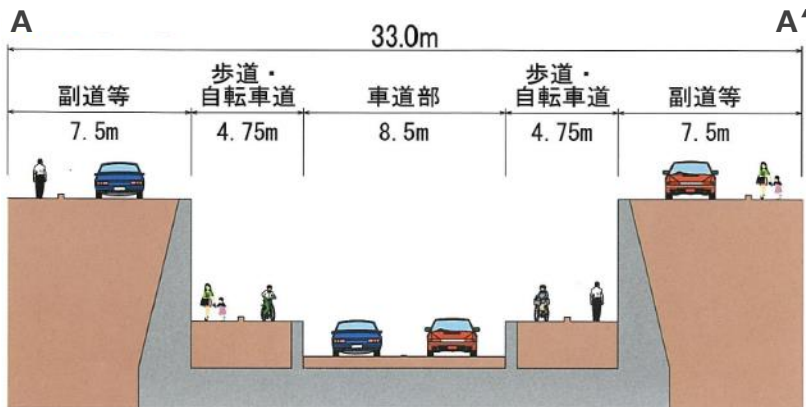
街歩き後、意見交換を行います。
気付いたこと・気になったこと・考えたこと
などを記しておくメモとしてご活用ください。

確認ポイント①

南側：京王井の頭線と交差する場所

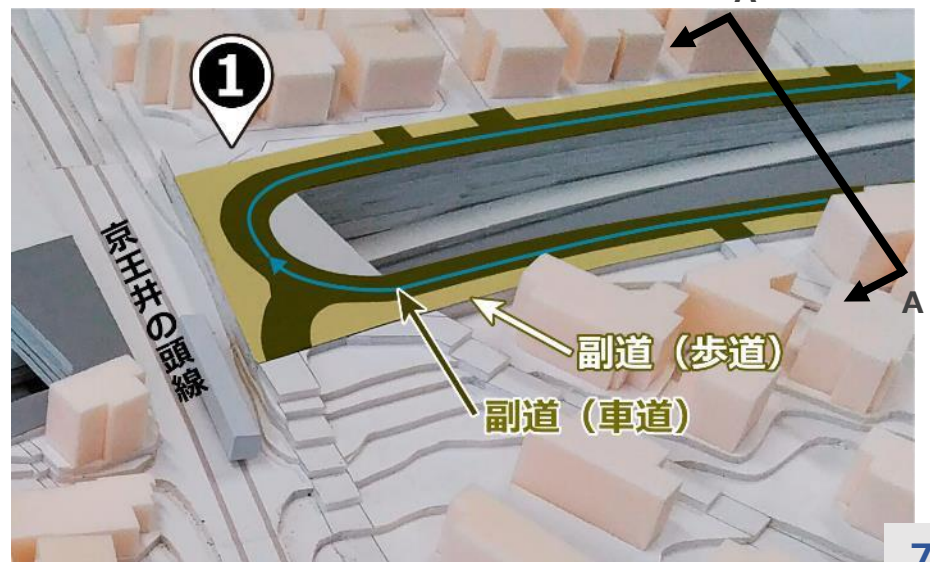


A-A'断面図



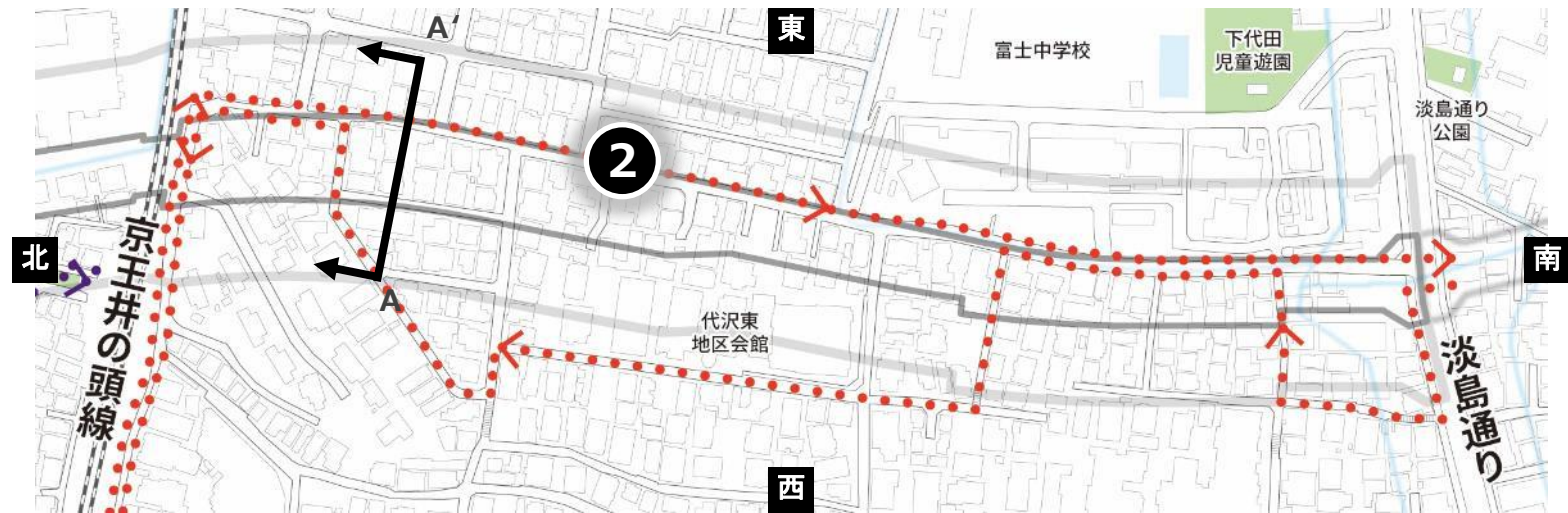
※出典：東京都資料

『東京都市計画道路補助線街路第26号線
世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目事業のあらまし』

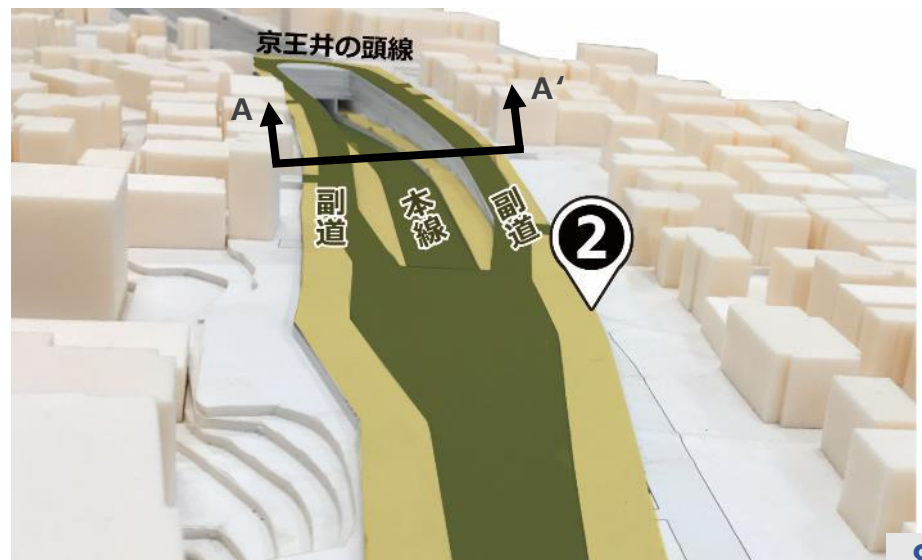
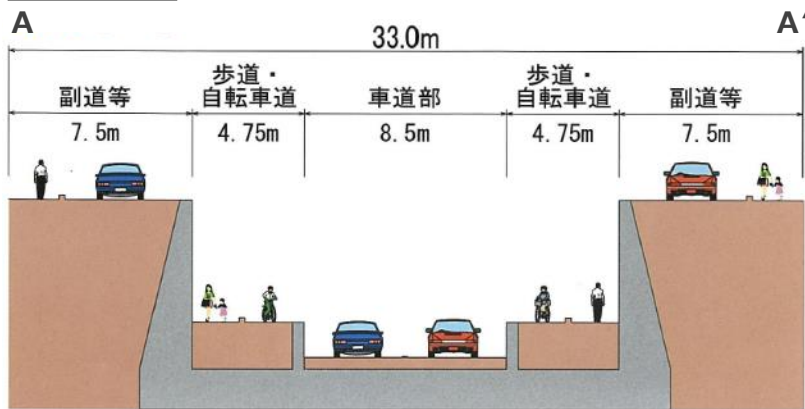


確認ポイント②

南側：堀割構造が始まる場所



A-A'断面図

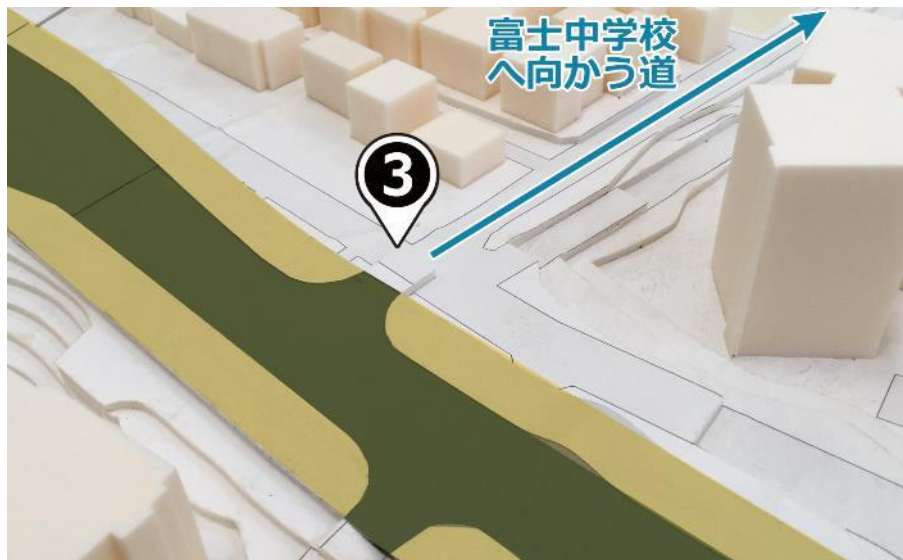
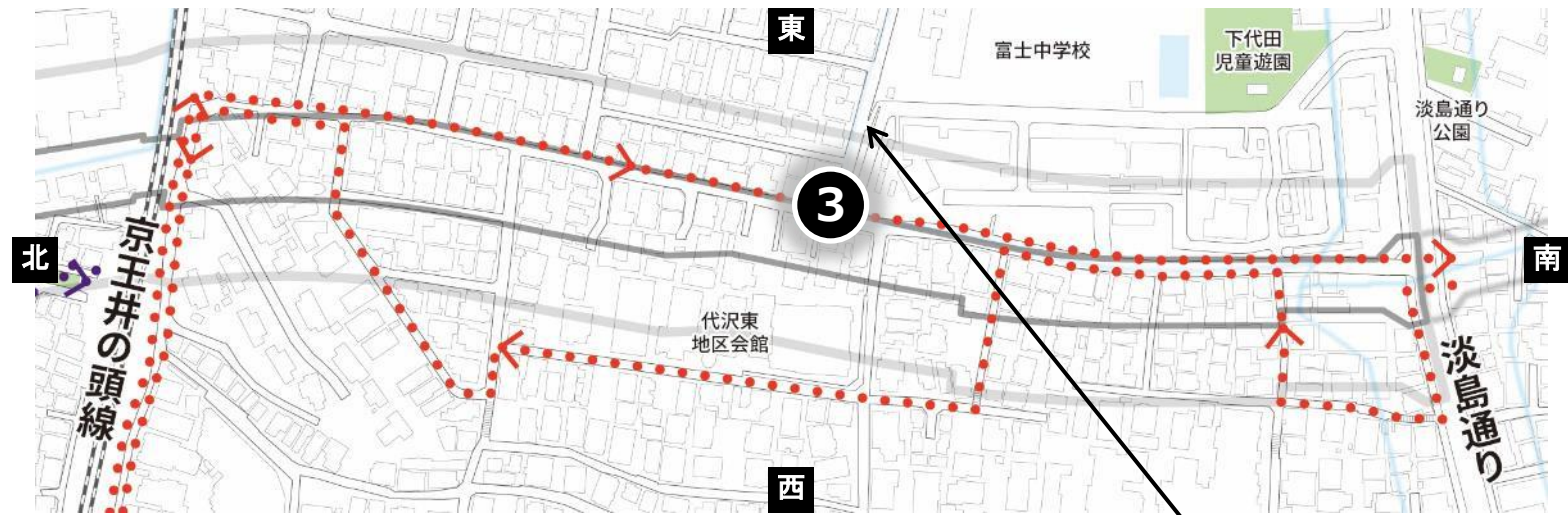


※出典：東京都資料

『東京都市計画道路補助線街路第26号線
世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目事業のあらし』

確認ポイント③

南側：富士中学校へ向かう道



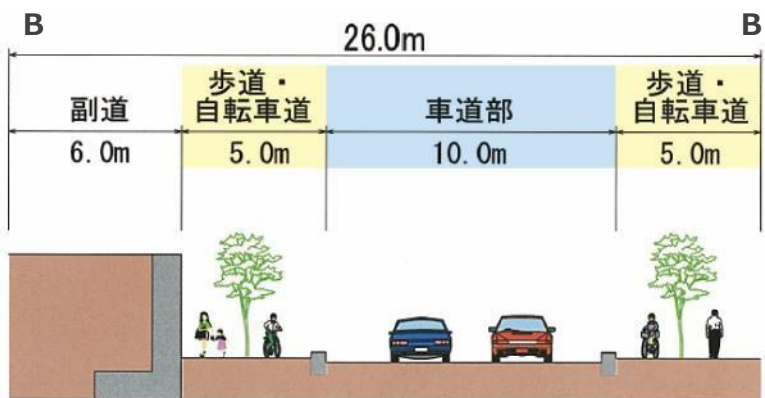
↑③の場所から富士中学校側を見た様子（現況）

確認ポイント④

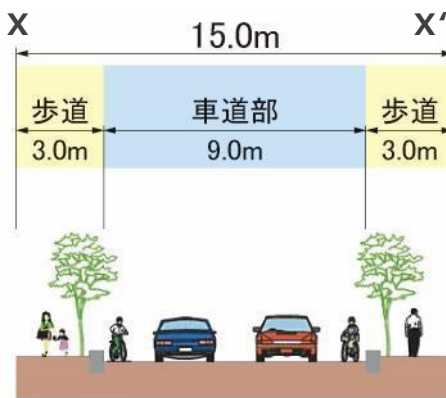
南側：淡島通りと交差する場所



B-B'断面図



淡島通りの断面図



※出典：東京都資料

『東京都市計画道路補助線街路第26号線
世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目事業のあらまし』

※参考：都道検索閲覧システム
道路地図の情報を基に作図

確認ポイント⑤

南側：淡島通りより南側の補助26号線の整備状況



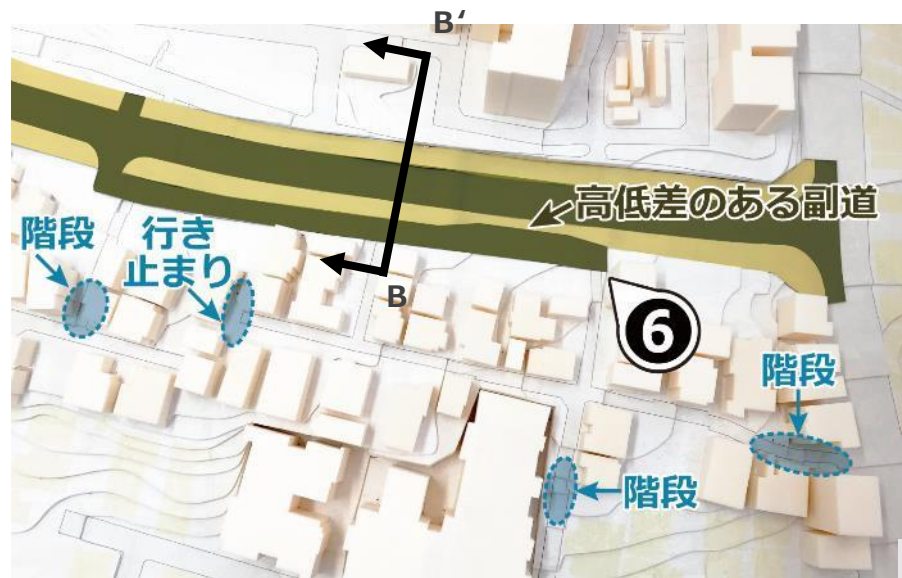
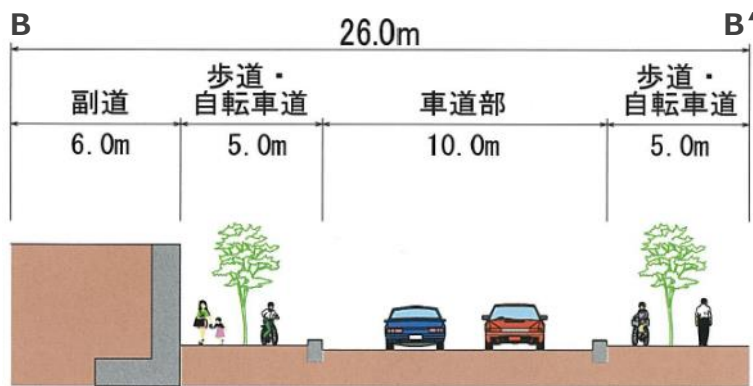
工事中の
現地の様子→

確認ポイント⑥

南側：高低差のある副道が出来る場所



B-B'断面図

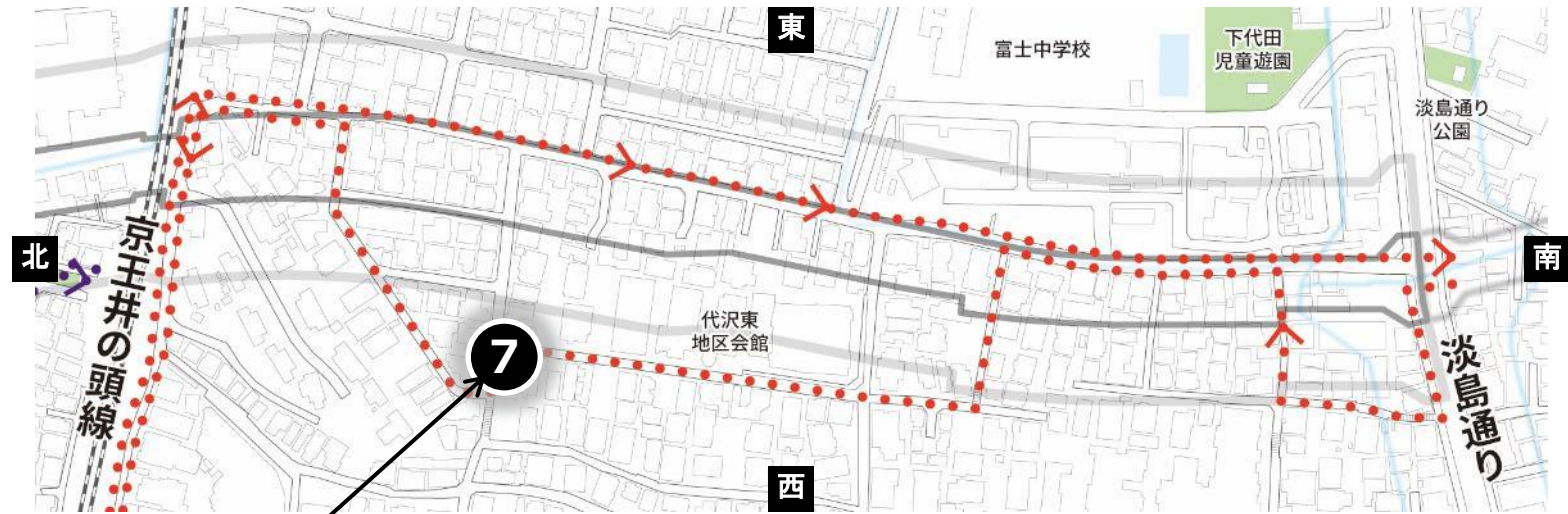


※出典：東京都資料

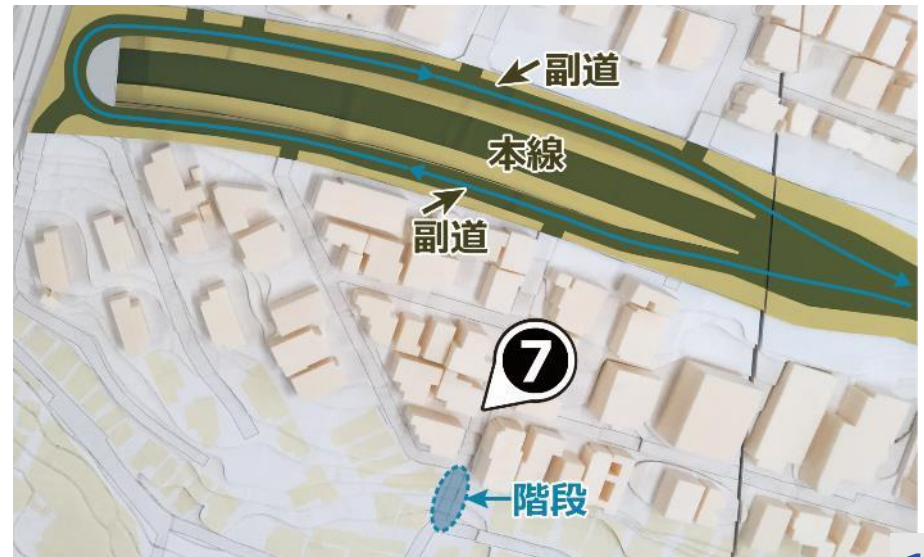
『東京都市計画道路補助線街路第26号線
世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目事業のあらまし』

確認ポイント⑦

南側：京王井の頭線南側の階段付近の場所

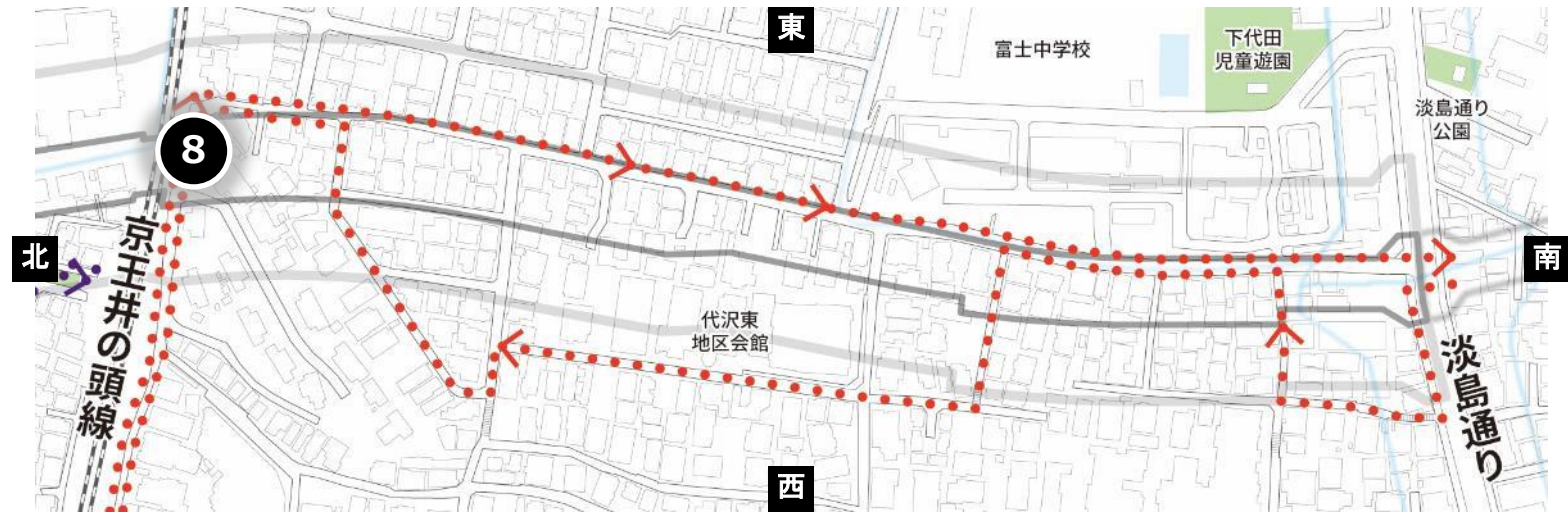


↑階段



確認ポイント⑧

南側：会計検査院宿舎跡地



↑ 会計検査院宿舎跡地



↑ 会計検査院宿舎跡地

確認ポイント⑨

北側：京王井の頭線と交差する場所、北沢一丁目公園



C-C'断面図



※出典：東京都資料

『東京都市計画道路補助線街路第26号線

世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目事業のあらまし』



↑北沢一丁目公園



↑京王井の頭線と交差する場所

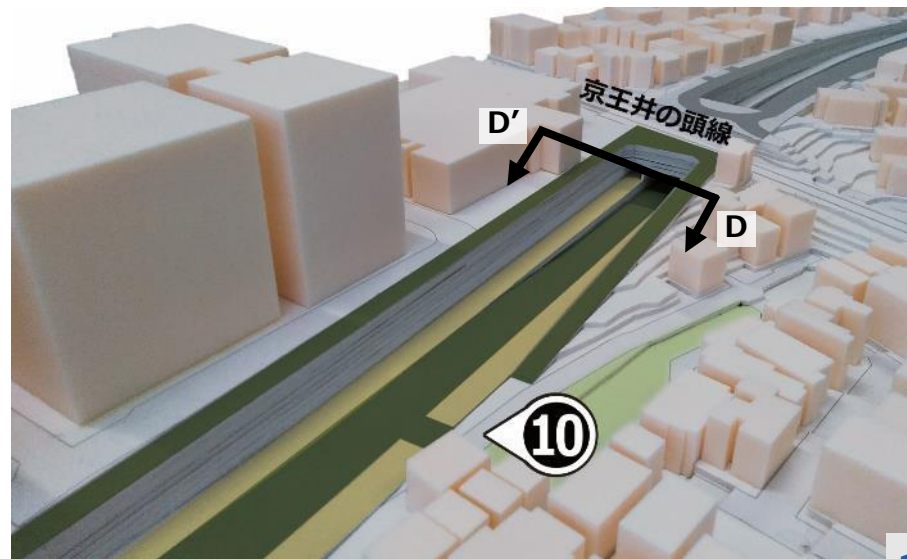
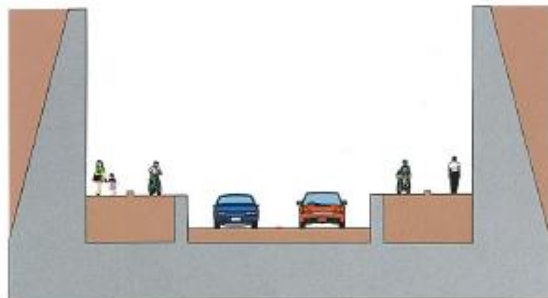
確認ポイント⑩

北側：堀割構造が始まる場所



D-D' 断面図

25.0m					
D	歩道・ 自転車道 構造物	歩道・ 自転車道	車道部	歩道・ 自転車道	D'
	3.5m	4.75m	8.5m	4.75m	



※出典：東京都資料
『東京都市計画道路補助線街路第26号線
世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目事業のあらし』

確認ポイント①①

北側：東京大学出入口、擁壁が始まる場所



E-E'断面図



↑ 東京大学駒場キャンパス

※出典：東京都資料
『東京都市計画道路補助線街路第26号線
世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目事業のあらまし』

確認ポイント⑫

北側：松蔭中学校・高等学校、三角橋交差点



↑三角橋交差点

街歩き出発にあたって

- 約3.7kmと長い距離を歩くため、無理のない範囲でご参加ください。
- 各自で水分補給をお願いいたします。
- お手洗いは、『池之上小学校』と『代沢東地区会館』をご利用ください。
- ケガをされた方や体調が悪くなった方は、すぐにお近くの職員までお申し出下さい。



意見交換は、11:30から開始する予定です。

4

第3回街づくり懇談会の振り返り

5

意見交換

テーマ：

街歩きを踏まえて気付いた 補助26号線沿道地区の「将来像」について

- ・ 気付いたこと、気になったこと、考えたこと
- ・ 南北を歩いてみて、
「沿道全体」がどのようになると良いと思いましたが？

次回の懇談会（2月頃予定）では…

これまで懇談会で頂いたご意見や、アンケートのご意見を踏まえて、
「街づくりの方向性」や「沿道の将来像」の案をお示しする予定です。

補助26号線に関する状況

> 事業認可について

路線名 : 補助26号線
施行箇所 : 世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目
延長 : 975メートル
計画幅員 : 20～33メートル
事業期間 : 令和元年度～令和12年度
事業費 : 274億円
担当事務所 : 東京都第二建設事務所
事業の認可を取得した日 : 令和元年7月18日

※東京都HP「補助第26号線（代沢）の事業に着手します」より

> 用地説明会について

令和元年9月26日、東京都が「用地説明会」を開催しました。

第3回街づくり懇談会の振り返り

【要旨】

1. 第3回街づくり懇談会の開催概要
2. 意見交換
3. アンケートの概要
4. 東京都からの回答
5. 区からの回答

令和元年10月20日

世田谷区・目黒区

1. 第3回街づくり懇談会の開催概要

【日 時】令和元年7月11日（木）18：30～20：30

【会 場】北沢タウンホール12階 スカイサロン

【参加者】38人

2. 意見交換

(1) 南側テーブル①の付せん紙、模造紙に記載された主な意見 《 》は補足説明

項目	内容	位置
横断	・高齢者・子どもが安全に渡れるように！（信号（青）の長さ。）	—
	・東西のアクセスを十分に。	—
	・代沢東地区会館と富士中学校周辺に横断歩道。	代沢東地区会館 付近、都営代沢一丁目アパート北西側交差点付近
淡島通りへのアクセス	・富士中や駒場学園の生徒の通学路の確保。	都営代沢一丁目 アパート北西側交差点付近
	・「事業のあらかし・断面①-①周辺」は、「副道」からの階段が必要。	南側副道 最南端 ～ 淡島通り
	・代沢 1-25、26 の間の道から淡島通りに出られる優しい階段等、確保して欲しい。	
	・淡島通りに出にくくなるので階段を使わず出やすくして欲しい。	
・高齢社会になるので階段のところにエレベーターは必要！（自転車も）		
掘割エリアについて	・4.5mの建築限界。余裕があるのでは。	—
	・蓋をかけて公園にしたい。（緑豊か）	—
道路工事	・工事期間中、代沢 1-25、26、27、29 の地域は自動車を利用できなくなる。⇒工事期間中利用可に。	—
	・工事中の音や振動が気になる。	
	・7年は長い。車が通れない。音や振動。	
	・工事期間を短くして欲しい。	
国有地	・旧国家公務員の土地を代替地として活用できないのか。	—
生活環境（完成後）	・この26号線は、どのくらいの交通量で、どのくらいの騒音になるのか？	—
	・道路傾斜のところは車をふかすので騒音が心配！！	
	・道路傾斜の為、アクセルを踏み込む為、通常以上の騒音が予想される。対策は考えているか。	

	<ul style="list-style-type: none"> • 道路ができてからの音や振動が気になる。 • 道路ができると人が集まってくる。(うるさくなる) 	
駐停車	<ul style="list-style-type: none"> • 五條橋-大山⇒ここは駐車が多い！こうはなりたくない！ • 広い道が出来ると駐停車が多くなる。 	—
将来像	<ul style="list-style-type: none"> • 今住んでいる方たちが、ずっとこのままで道路だけができるという状況にはならないと思う。 • 道路ができて交通至便な地域になったら、新しい住宅地として開発される可能性もでてくる。マンションが建ち並ぶ地域にもなり得る。 • 住宅地としての、今の状況は変わらないように。 • 将来どのような街になったらよいかは、若い次の世代の思いも尊重されるべき。 • よく考えた方がよい。今のままでよい。 	—
用途地域 高さ制限	<ul style="list-style-type: none"> • 第一種低層住宅のままで良い。 • 高い建物は、制限したい。 • 高層マンション建設反対！！ 	—

■グループ発表の内容（南側テーブル①）

- 淡島通りと交差する北西部（代沢 1-25、26、27、29）は、工事期間中に自家用車が通れなくなるため、どのように対処されるのか確認したい。
- 工事期間中も道路完成後も騒音・振動の対策をしっかりと欲したい。
- 淡島通りから北上する箇所では、上り坂になり自動車がエンジンをふかすため、防音には配慮して欲しい。
- 淡島通りと交差する北西部（代沢 1-25、26、27、29）は、淡島通りへ出にくくなるため、対策して欲しい。（副道からの階段、階段を使わずに出やすく、階段のところにエレベーターなど。）
- 広い道路が出来ると、駐停車が多くなることから考えられるため対策が必要。
- 代沢東地区会館と富士中学校の周辺に横断歩道があると良い。
- 富士中学校や駒場学園の生徒の通学路を確保すべき。
- 高齢者や子どもが安全に渡れるように青信号の長さを配慮して欲しい。
- 会計検査院宿舎跡地を街づくりのために活用できないか。
- 堀割になる部分については、活用する余裕があるように思う。蓋をかけて公園にするなど緑豊かにしたい。
- 道路が出来て交通が便利になると、マンション等の高い建物が建つようにもなり得る。どのような街になったらよいかは、若い世代の思いも尊重されるべきであり、よく考えるべき。
- 今の低層住宅地のままでよいと思う。高い建物は制限し、住宅地としての今の状況が変わらないようにしたい。

(2) 南側テーブル②の付せん紙、模造紙に記載された主な意見

《 》は補足説明

項目	内容	位置	
横断	<ul style="list-style-type: none"> ・クランク部分を一体的に交差点にしたい。《今は、東西で行き来が出来るが、それが適わなくなるのは不便。富士中の生徒も便利ではないか。》 	都営代沢一丁目アパート北西側交差点付近	
	<ul style="list-style-type: none"> ・出入口が左右両方可能なのか？ ・信号はつくのか。利用者多い？ 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・副道が行き止り（代沢 1-25-2）なので、車道の左右に出られるようにして下さい。 ・副道を延ばせないか？ 		南側副道最北端付近
	<ul style="list-style-type: none"> ・信号はつくのか？⇒左右に行けるように 	南側副道最南端付近	
	<ul style="list-style-type: none"> ・下代田児童遊園に渡る子どもたちが安全に横断できるように（インターナショナルスクールの子たちや、代沢ききょう保育園の子たちや、小学生の子たち） ・階段《子どもたちがたくさん通るのに危険》 ・通学時間は規制する等、対応して欲しい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・淡島通りに出られる通路が欲しい。（バス停への近道） ・階段で移動やバスに乗る時に不便。 ・救急車が入れないので危険。 		南側副道最南端～淡島通り
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の両側に桜の木を植えて欲しい。 ・街路樹には、①オリーブ（富士中シンボル）、②ユツリ葉（譲る一）、③花壇（高齢者の仕事） ・花壇を作る。地域で育てる。（区と協定） ・桜並木を大切に。古い樹もたくさんあります。（地域の思い出） 		—
	交通量の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・淡島通り南側の開通時の交通量の心配。 ・南側開通に合わせて、交通量の増加が心配。 	補助 26 号線・淡島通り交差点付近
		<ul style="list-style-type: none"> ・開通する。《近々、淡島通りから南側が開通すると思う。我々の地域の道路整備が進むのはもっと先で、その過程で交通量が増加し、交差点部分でどのように処理されるのか、危険が増すようで不安。》 	
居留意向	<ul style="list-style-type: none"> ・こちら辺で 90 歳代の方のおうちが立ち退きになると聞いたので、その方のサポートを手厚くして頂きたいなと思いました。 	代沢 1-35、1-36 付近	
	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に住み続けられることが大事。 ・会計検査院の跡地に権利者のための住宅を建てられないか。 ・事業着手の前に計画道路に当る世帯の移転する家（アパート等）建設すべきではないですか？⇒高齢者向け 	—	

	住宅。 ・住み慣れた場所で安心して継続して住みたい。	
将来像	・交差点付近は店も必要では。それ以外は住宅地で保全。《交差点付近には店舗等が建てられるようにしてもよいのではないか。仮に道路沿道に店舗が建つようにしたところで、道路が掘り込まれてしまい東西に行き来が出来るわけではないので、あまり意味がないのではないか。》	—
	・道路付きのよい所のみ商業地区とし、他は住宅地。	
	・なるべく静かな地域で。	
	・地権者住宅などには、少し緩和をして欲しい。《住み慣れた地域に住み続けるために地権者のためのマンション等を建てるのであれば、そういう建物には少し規制を緩和してもよいのではないか。》	
	・今までどおり、静かな街であって欲しい。	
	・池尻・三宿の先行している所を街歩きしたい。《池尻・三宿の方は、道路が出来てから沿道に店が増えた。この地区はあのようにならない方がよいのではないか。》	
バリアフリーへの配慮	・高齢者の多い地域のためバリアフリーの歩道が欲しい。	—
	・横断歩道が必要！歩道橋は、高齢者や子ども、車イスには無理である。	
残地の活用	・残地を活用して権利者のための住宅を作れないか。	—
	・用地買収された土地。 ①都市型住宅地として空間を確保する。 ②共同住宅を建築する。	
周辺道路	・抜け道での交通の安全性。	代沢 1-18 付近
	・周辺道路で狭い所がある。	代沢 1-29 付近
	・周辺道路が狭い。	

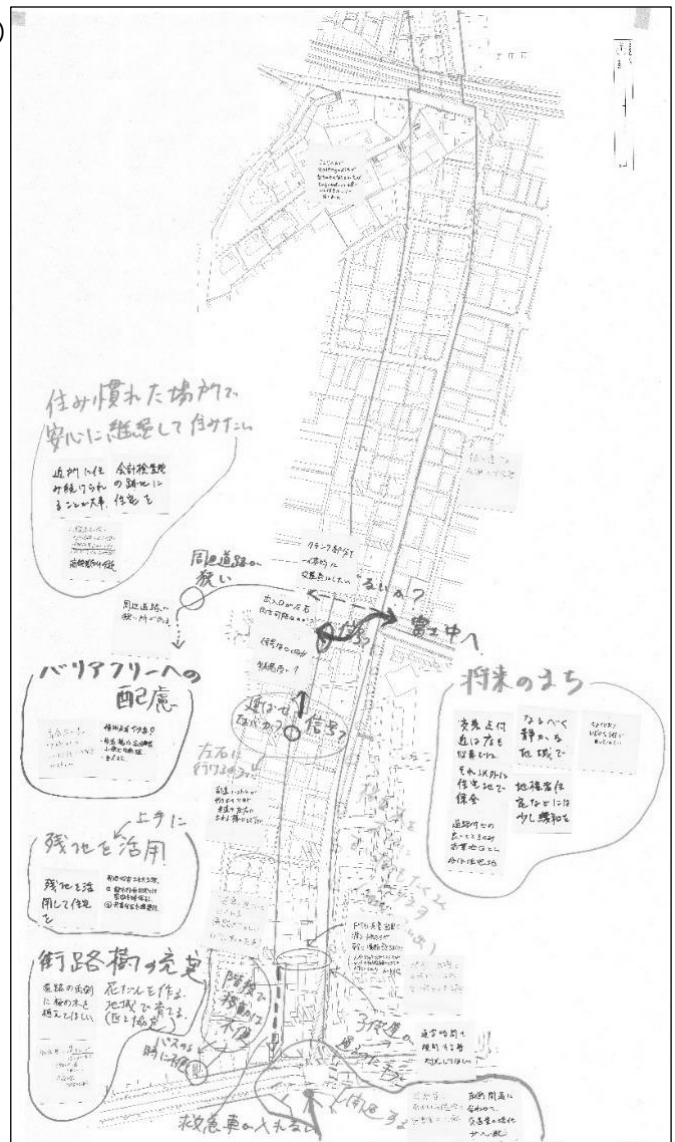
■グループ発表の内容（南側テーブル②）

- ・交差点部分にお店があるのはよいが、それ以外の部分では静かな住宅地の環境を保ちたい。
- ・道路整備の対象となる敷地では、建物にかかる規制を少し緩和して、できるだけ住み続けられるような方策もあるとよい。
- ・バスに乗る時や救急車両の進入時、淡島通り付近の副道から淡島通りにアクセスするのが不便になってしまう。歩行者が淡島通りに容易にアクセスできるような対策が必要である。
- ・クランクになってしまうが、都営代沢一丁目アパート北西側の部分を一体的な交差点

にできないか。

- 道路を横断しやすいよう、淡島通り付近の側道を北側にもう少し伸ばせないか。
- 補助26号線の三宿側の道路が完成することによる交通量の増加が心配。
- 地域の思い出でもある、都営代沢一丁目アパートに植わっている古い木に似た木を街路樹とするのはどうか。また、街路樹は富士中学校のシンボルであるオリーブの木等にすることも考えられる。
- 残地を活用して、区と協定を結んで地域で管理する花壇をつくるのはどうか。
- また、会計検査院宿舍跡地に、立ち退きが必要な住民（特に高齢者）が地域に住み続けられるよう住宅を建てるのはどうか。

■当日取りまとめた内容（南側テーブル②）



(3) 南側テーブル③の付せん紙、模造紙に記載された主な意見

《 》は補足説明

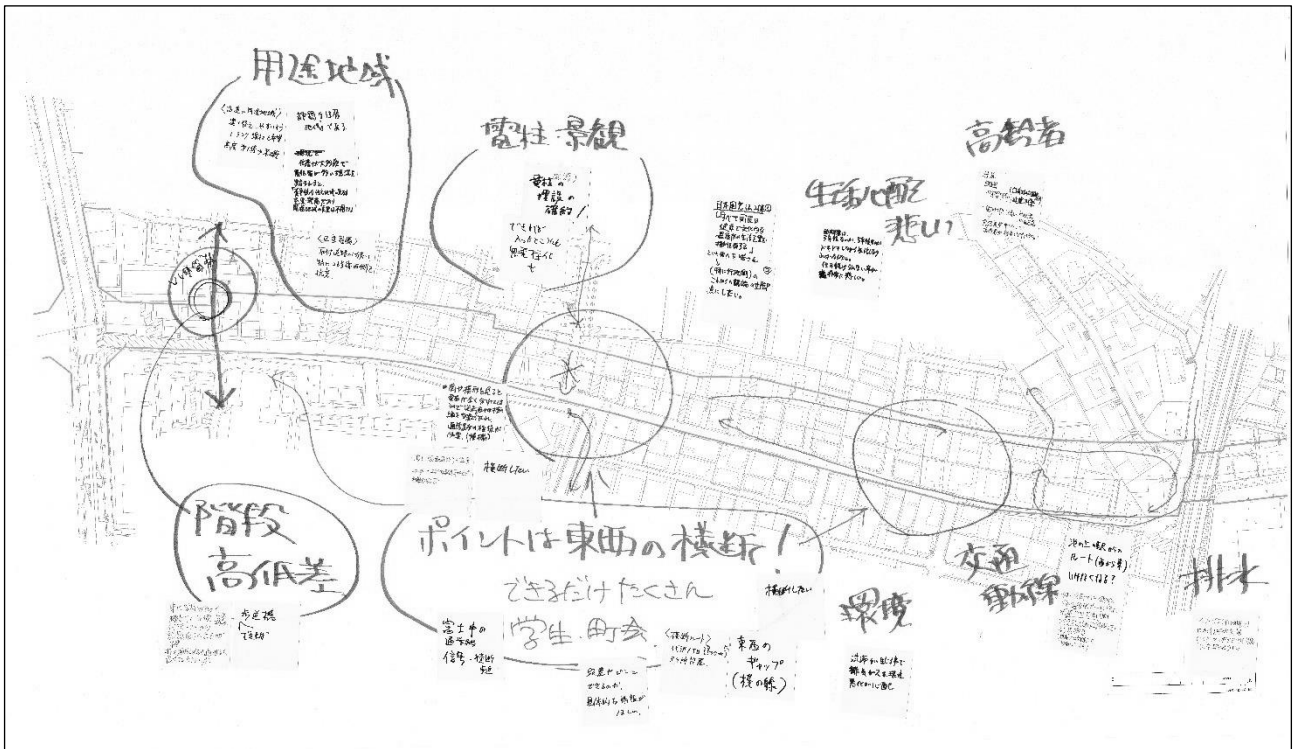
項目	内容	位置
横断	<ul style="list-style-type: none"> 横断したい。 	都営代沢一丁目 アパート北西側 交差点付近、 代沢 1-37 東側 付近
	<ul style="list-style-type: none"> 図や模型を見ると東西が全く分かれてしまうので、従来通りの横の線を多数作れ。通学路の確保が必要。(陸橋) 	南側副道 最南端付近
	<ul style="list-style-type: none"> できれば歩道橋。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 渡し(東西連絡)の位置。 	都営代沢一丁目 アパート北西側 交差点付近
	<ul style="list-style-type: none"> 富士中の通学路・信号・横断・歩道。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 段差がどこにできるのか、具体的な情報が欲しい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 横断ルートを代沢 1 丁目(約 500m)に 3ヶ所設置。 	代沢 1-37 東側 付近
	<ul style="list-style-type: none"> 東西のギャップ(横の線) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ポイントは東西の横断!できるだけたくさん。(学生・町会。) 	
<ul style="list-style-type: none"> 東に学校が多く(中学・高校)、横断が不便。 		
交通動線	<ul style="list-style-type: none"> 池ノ上駅からのルート(西から東)行けなくなる? 	井の頭線沿い 道路(南側)
	<ul style="list-style-type: none"> 池ノ上方面から京王井の頭線に沿って移動する際に代沢 1 丁目 37 番地側にタクシー(車)で移動できるような措置。(現状では問題なく移動できます。) 《今日示された模型のように掘割上空に東西の渡しが無い場合、代沢 1 丁目 37 番地側に右折できる箇所が見当たらない。》 	代沢 1-37 付近
	<ul style="list-style-type: none"> 京王井の頭線の側道は狭く、広くならないか。《道路が整備されると淡島通りへ出るまでの移動距離が長くなり不便。》 	—
淡島通りへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> 代沢 1-25 から淡島通りへ出るのが不便。 	南側副道 最南端付近
	<ul style="list-style-type: none"> 淡島通りへ。 	
居留意向	<ul style="list-style-type: none"> 当事者は、3 年後なのか、5 年後なのかドキドキしながら生活しなければならない。住み続けられない事が非常に悲しい。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 生活心配。ただただ悲しい気持ちである。 	
排水対策	<ul style="list-style-type: none"> アンダーパス(京王井の頭線下)における排水処置。(アンダーパス位置が池状態にならないように。) 	京王井の頭線 付近掘割部分

生活環境 (完成後)	・渋滞が生じる事で排気ガス等、環境悪化が心配。	—
無電柱化	・電柱（電線）の埋設の確約！ ・できれば入ったところも無電柱化を。	代沢 1-30 付近
用途地域 高さ制限	・沿道の用途地域は、建て替えしやすいよう 1 ランク緩和を希望。 ・静穏な住居地域である。 ・住居が大多数で居住者が多い現況を踏まえると、「静穏な住宅地域の更なる充実・発展」であり、用途地域の変更は不要では。 ・高度地区は、第 1 種⇒第 2 種。	—
周辺道路	・区道整備。取付道路が狭い。特に 26 号線西側を拡充。	—
国有地	・防災（火事）（国有地公園化など）延焼対策	
延焼対策 高齢者	・住みやすさ（特に年配者への配慮）⇒高低差がキツイので高齢者が移動しやすいように。	—
議論の 視点	・日本国憲法第 25 条「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」という考え（生存権）を、皆さん（特に行政側）のこれからの議論の立脚点にしたい。	—

■グループ発表の内容（南側テーブル③）

- ・今回の街づくりでポイントになるのは、東西の横断である。通勤・通学のために横断することが多く、町会としても横断の需要は高いと考えている。
- ・池ノ上駅側から補助 26 号線西側の住宅地への自動車でのアクセスが不便になる可能性があることに配慮して欲しい。
- ・淡島通り側の段差が発生する部分は、階段等で移動を容易にする工夫が必要である。
- ・地域の高低差は、特に高齢者にとってはきついので、高齢者の住みやすい街づくりが必要である。
- ・京王井の頭線付近の掘割部分は元々水が溜まりやすい場所であり、その辺りを掘る場合は水害発生が懸念される。
- ・静穏な住宅地の環境を保てるよう、用途地域は現在のままにしたい。
- ・沿道の建物が建て替えしやすくなるよう、用途地域を緩和した方が良い。
- ・交通渋滞による排気ガスが、環境に与える影響について配慮して欲しい。
- ・補助 26 号線は無電柱化されると考えられるが、接続する区道についても、無電柱化できると良い。
- ・建物を撤去する必要がある生活上の不安がある住民等、様々な立場の参加者がいる。

■当日取りまとめた内容（南側テーブル③）



(4) 北側テーブルの付せん紙、模造紙に記載された主な意見

《 》は補足説明

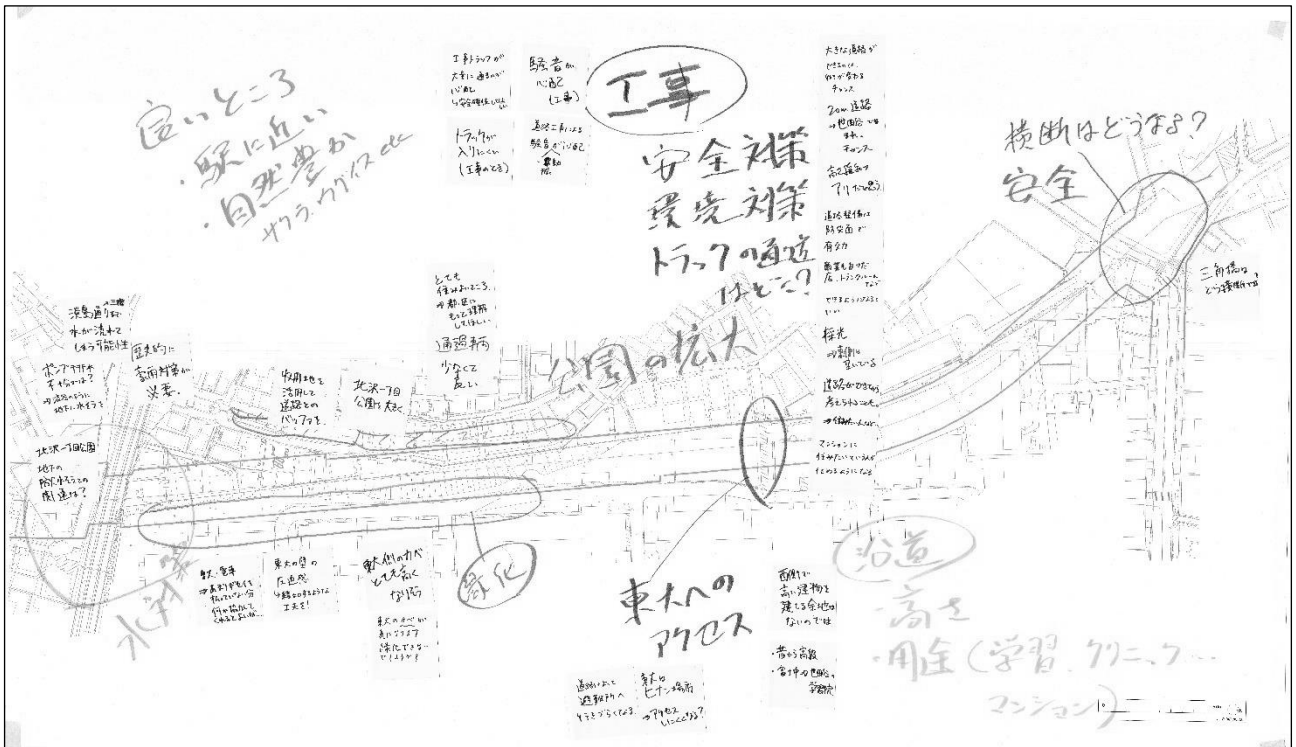
項目	内容	位置
横断	・三角橋交差点は、どう横断できる？	三角橋交差点 付近
	・横断はどうなる？	
	・道路によって避難所へ行きづらくなる。	東京大学西側 出入口付近
	・東大は避難場所⇒アクセスしにくくなる？	
	・東大へのアクセス。	
擁壁の 圧迫感	・東大の壁が気になります。緑化できないでしょうか？	東京大学 西側 (掘割部分)
	・東大側の壁、とても高くなりそう。	
	・東大の壁の圧迫感⇒緩和するような工夫を！	
	・東大・電鉄⇒あまり犠牲を払っていない分、何か協力してくれるとよいが。	
	・緑化。	
道路整備の 効果	・道路整備は、防災面で有効。	—
道路工事	・工事トラックが大量に通るのが心配⇒安全確保して欲しい。	—
	・(工事のとき)トラックが入りにくい。	
	・(工事)騒音が心配。	
	・道路工事による騒音・振動が心配。	
	・安全対策、環境対策。トラックの通行道はどこ？	
排水対策	・淡島通り⇒三宿まで水が流れてしまう可能性。	京王井の頭線 付近 掘割部分
	・ポンプ排水では、不十分では？⇒渋谷のように地下に水槽を。	
	・北沢一丁目公園地下の防火水槽との関連は？	
	・歴史的に豪雨対策が必要。	
用途地域 高さ制限	・(建物の)高さをある程度高くして、低層部には学習塾やクリニック等が立地できるようにする。	—
	・西側で高い建物を建てる余地はないのでは。《西側の沿道は面積の小さな敷地が多く、高い建物を建てられるような状況ではないのではないか。》	
	・高さ緩和はアリだと思う。	
将来像	・大きな道路ができるのは、街が変わるチャンス。	—
	・20m道路⇒世田谷ではまれ。チャンス。	
	・マンションに住みたいという人が住めるようになる。	
	・道路ができてから考えられることも。住みたい人など。	
	・商業もありだ。店、トランクルームなどできるようになるといい。	
残地の	・北沢一丁目公園を大きく。	北沢一丁目公

活用	<ul style="list-style-type: none"> ・収用地を活用して通路とのバッファを。《残地を活用して、北沢一丁目公園と繋がった大きな緑地をつくれな いか。》 ・公園の拡大。 	園付近 ～ 北沢 1-13 付 近
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・採光⇒東側は空いている。《京王井の頭線北側には、東 京大学の高い建物があるが、南側の東側沿道は低層住 宅地のため、日照の面はあまり心配ないのではない か。》 	—
地域の 魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から高級。 ・富士中⇒世田谷の学習院。 ・とても住みよいところ。⇒都・区にもっと理解して欲 しい。 ・通過車両が少なくて良い。 ・駅に近い。 ・自然豊か。(サクラ・ウグイス etc.) 《静かさ・自然の 豊かさと利便性を両立しているのがこの地域の魅力で ある。》 	—

■グループ発表の内容（北側テーブル）

- ・沿道の将来像として、建物の高さのある程度高くして、低層部には学習塾やクリニック等が立地できるようにすると良いのではないか。
- ・補助 26 号線が整備されるのを機に、地域に移り住んでくる人たちのための、中層程度のマンションが建つのは良いだろう。
- ・東京大学は広域避難場所に指定されているため、出入口付近で道路を横断できるようにし、アクセスを確保する必要がある。
- ・三角橋交差点は、どのように横断できるようになるのか。学生も多く、安全面で課題がある。
- ・東側に圧迫感のある擁壁ができると考えられるので、擁壁の角度の工夫や緑化等によって、圧迫感を軽減できるようにすると良い。
- ・残地等を活用して北沢一丁目公園を拡大し、沿道に緑豊かでゆとりのある空間をつくり出すのはどうか。
- ・京王井の頭線付近の掘割では、豪雨の際の水害が心配である。地下に貯水槽をつくる等の対策も必要なのではないか。
- ・工事車両はどこを通るのか。また、工事の際の騒音や振動への対策はどのように行うのか、具体的に東京都に確認したい。

■当日取りまとめた内容（北側テーブル）



3. アンケートの概要

出席者38人のうち、17人の方がアンケートに記入してくださいました。内容は、次のとおりです。

(1) 第3回街づくり懇談会の感想

交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所の方の話を聞いて、初めて車の通り方が変わることを実感した。(右折できなくなる etc。)
国有地の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ご高齢の方で立ち退く方の住居について、旧会計検査院宿舎跡地に集合住宅を建てる etc。意見を聞いて、いいアイデアだと思った。
模型	<ul style="list-style-type: none"> ・模型が出来たことにより、議論が活発になり効果があった。 ・第3回街づくり懇談会になって模型も出来て意見も具体的になり成果が上ったと思う。 ・有意義な会でした。次回もよい会合となると思います。模型は、素晴らしいです。 ・模型を見てよく計画が理解できた。同時に問題点も多少ある。(意見として述べた。) ・模型の開示によって充実した懇談会になりました。今後とも議論の発展を期待しています。 ・平面図でなく模型があったおかげで、どんな状況になるか良く理解できました。個々の意見を引き出すための職員の方の努力・助言に。 ・模型を作っていただき、イメージがつかめました。全く違う町になってしまう事が実感できました。区の職員の方々が話し合いの中に入っただき、みんなが意見を出せました。 ・やっと模型が出来て具体的な“街づくり”の話が進展したと思うし、このテーブルは反対の方はいらっしやらない“計画の早期実現”を希っていると思う。
懇談会の進行	<ul style="list-style-type: none"> ・模型を確認できて良かったです。時間が限られているので、(前回の)振り返りにあまり時間を割かないほうがいいのか？資料添付されているので各自読んでもらえばいいのでは。
案内方法	<ul style="list-style-type: none"> ・通知が来たのが6月末。急に言われても困るので極力早く。理想は次回の日程を前回の空所に入れてもらえるのがありがたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の皆様が熱い口論をしていただいて、静かな住宅地をたもって欲しい。今日は、模型が出来たと聞いて参加しました。 ・代沢1丁目の方々の関心が高まってきて、今の街の良さを維持したいとの気持ちで、前向きな意見が多かったと思います。ご指導ありがとうございます。 ・本日は、分かりやすく良かったです。 ・いろいろ要望を聞いてくれるので、それは良い！ ・今まで知らなかった事を知ることができた。

(2) 沿道街づくりに関する意見

補助 26 号 線整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「京王井の頭線付近の掘割の深い部分について、天蓋をして上部を公園にしたい。」については、100mとは言いませんが建築限界等を考慮して、どのくらいなら可能か検討願いたい。東西住民の交流の場として、災害時の臨時の集合場所として、有効だと思っています。 ・住民への安全を第一に考えて欲しい。
早期実現	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路ですので、早く進めて欲しい。 ・早目にスタートして欲しい。 ・作るなら早く作って欲しい！（7年は長すぎ!!）
子どもの安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが通いやすい道路を考えて欲しい。 ・変わることは仕方ないので受け入れますが、子どもたちの通学路の安全や、下代田児童公園へ渡っている大勢の小さい子どもたち（毎日保育園の子どもたちが歩いているのが家の中から見えるので、気になりました。）が安全に道路を渡れるようにしていただきたいなということは強く願います。
環境（緑・騒音・振動等）	<ul style="list-style-type: none"> ・静かな住宅地に大きな道路が出来るので、騒音や振動が心配です。 ・車の量が多くなることから、環境の整備をお願いしたい。 ・第3回で意見も出つくしたと思われる。北沢1丁目公園の延長部分には東大西側斜面の桜を移植して欲しい。
高さ制限	<ul style="list-style-type: none"> ・建物は、今まで通りにして欲しい。高い建物はいらない。 ・毎回書いておりますが、高さ規制だけは緩めない様お願いします。建蔽率、容積率の範ちゅうでお願いします。庭先が道路に掛かり、土地の面積が狭くなったため、法令違反となる方（そのために建物の一部を壊さねばならないとしたら。）は、建蔽率等の緩和で対応可能ですが、高さ規制は変えても救済策にはなりません。
建物用途について	<ul style="list-style-type: none"> ・商業地区になってしまう部分もあるのかと思います。これだけ大きな道路が出来るので、仕方がないかなと思います。 ・交差点周辺は、商店中心の街づくりも良いと思います。 ・子どもの時から住んでいて、ここが今まで静かで住みよい町だったことに改めて実感させられた。できれば商業地区にならず、今まで通り静かな住宅街であって欲しいと思った。
国有地の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・旧国家公務員住宅用地は、これから担う幼児・児童が集う場として、「代沢の森・緑の公園」を作ってはどうか？ウッドサーキット遊具のほか、もちろん災害倉庫やマンホールトイレなど、富士中＝避難所に次ぐ第2の避難所としても機能させることができると思います。 ・国有地であっても、世田谷区が無償貸付を受けて管理している公園用地としては、「三宿の森緑地」などの前例もあります。
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・住民（高齢者を中心とした）に暮らしやすい街づくり。 ・安全・安心に暮らせる（特に防災）街づくり。

(3) その他

道路工事	<ul style="list-style-type: none">• 道路ができるまでの5～6年の間、駒場への抜け道の交通量が増える（池之上方面も増えると、池之上小学校へ行く子の通学路も心配だなと思った。）かもしれないことや、（工事の期間だけでも、時間帯で）規制ができないだろうかというご意見を聞いて、初めてそういう危険があることに気づいた。• 道路が完成する迄の間（1～7年間程？）は、現在の狭い道に入り込む車両が増加すると考えられ交通事故も心配。何らかの規制が必要と思います。• 工事はあくまで安全第一にお願いします。
周辺道路	<ul style="list-style-type: none">• この幹線道路にアクセスする周辺の道路の狭いところも有るので、その辺りを広くすることを検討して欲しい。
渋滞・混雑	<ul style="list-style-type: none">• 渋谷から幡ヶ谷行きバスで東北沢から歩いて下北沢に来ましたが、東大裏を過ぎた辺りからひどい渋滞になり、渋谷→東北沢が通常 10-15 分程度のところ 3 倍の 40 分もかかりました。大山町の先、中町通り方面へ渋滞は続いており、特に道路拡張の計画等の計画も無いことから、将来的にも解消されないと考えます。そればかりか三角橋から南の三宿方向に道路が出来れば更に混雑はひどくなり南側から流入する車が数珠つなぎになり、排気ガス等、環境悪化の一途をたどるものと懸念されます。
模型	<ul style="list-style-type: none">• 自宅から、立体模型が見れるように。（下北沢駅の地下化 PJ について CG 等をつくって自宅の PC から見えイメージが湧き大変良かった。）（参考）「シモチカナビ」（ネットでググって下さい。）• 模型を今日初めて見て、初めて現実のことなんだなと感じられた。
その他	<ul style="list-style-type: none">• 土・日は出かけて出席できません。• 皆様のご意見が各区や都に少しでも届きます様。

4. 東京都からの回答

(1) 道路交通量について

質問・意見：

- ・補助26号線は、どのくらいの交通量になるのだろうか。

【「第1回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 交通量については、周辺道路の交通量や区部の2車線道路の実例を参照すると、10,000～13,000〔台/日〕程度が走行するものと思われます。
- 参考までに、平成27年10月調査の「道路交通センサス」では、池尻4丁目7番付近の「淡島通り」における自動車類（大型車・小型車）の交通量は約12,900〔台/日〕という状況です。

(2) 補助26号線（三宿）の開通による影響について

質問・意見：

- ・補助26号線（三宿）の開通に合わせて、淡島通りとの交差点部分の交通量が増加することになるが、どのように処理されるのか、危険が増すようで心配である。

- 補助26号線（三宿）の開通時には、淡島通りとの交差点はT字型の交差点となります。淡島通りから補助26号線へアクセスする車両のために、淡島通りに右折レーンを設ける計画としています。

(3) 道路工事中の交通動線について

1) 工事期間中の生活環境について

質問・意見：

- ・淡島通りと交差する北西部（代沢1丁目25番、26番、27番、29番）は、工事期間中に自家用車が通れなくなるため、どのように対処されるのか確認したい。
- ・工事により車が通れなくなる期間が7年は長い。工事期間を短くして欲しい。

- 工事の具体的な進め方については、現時点では決まっておりませんが、工事期間中において、地域の皆様が自動車を利用できなくなることはないよう、沿道の皆様に配慮しながら具体的に検討し、工事を着手する段階でチラシ配布などによりお知らせいたします。

2) 工事車両の動線について

質問・意見：

- ・工事トラックが大量に通ることが心配である。安全を確保して欲しい。
- ・工事トラックの通り道はどこになるのだろうか。
- ・工事はあくまで安全第一にお願いします。

- 工事期間中の工事車両や資材搬入のルートにつきましては、沿道の皆様の生活に配慮しながら、具体的に検討していきます。

3) 工事中の騒音や振動について

意見：

- ・ 工事期間中も道路完成後も騒音・振動が心配である。対策をしっかりと欲しい。
- ・ 淡島通りから北上する箇所では、上り坂になり自動車がアクセルを踏み込むため、通常以上の騒音が予想される。防音には配慮して欲しい。
- ・ 道路完成後、渋滞が生じる事で、排気ガス等による環境の悪化が心配である。

- 道路完成後の騒音・振動・大気質については、今回整備する補助26号線（代沢）と同規模の都道での測定結果を調査し、いずれも環境基準以下であることを確認しております。
- 工事の施工中は、低騒音型、低振動型の建設機械や排ガス対策型建設機械を使用するなど、環境面に配慮し、事業を進めます。

4) 完成後（開通時）の環境について

質問・意見：

- ・ この補助26号線は、どのくらいの騒音になるのだろうか。

【「第1回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 騒音・振動については、今回整備する補助26号線（代沢）と同規模の都道での測定結果を調査し、いずれも環境基準以下であることを確認しております。
- 整備にあたっては、「世田谷区環境基本条例」に基づく環境配慮制度に則り、本事業を実施することによる環境影響及びそれに対する配慮方針について検討を行っております。騒音については、今回整備する補助26号線（代沢）と同規模の都道での測定結果を調査し、いずれも環境基準以下であることを確認しております。
- 本路線の車道には、低騒音舗装を採用し、道路交通騒音のより一層の低減を図ります。

＜表 同様の規模の都道における騒音・振動測定結果＞

路線名	観測地点	車線数	道路幅員	騒音レベル (db)	
				昼間	夜間
都道赤坂杉並線 (井ノ頭通り)	世田谷区 大原1-16	2	25m	66	65
				評価の指標〔騒音〕 (db)	
				70	65

※騒音の測定結果は、平成27年度の実績値です。

※評価の指標〔騒音〕は「環境基本法」に基づく「騒音に係る環境基準（幹線交通を担う道路に近接する空間に係る環境基準）」です。

※なお、夜間の騒音レベル65dbは、車のアイドリング程度のイメージです。

5) 排水対策等について

質問・意見：

- ・京王井の頭線下のアンダーパスにおける排水処置。アンダーパスの部分が池状態にならないようにして欲しい。
- ・アンダーパス部のポンプ排水だけでは不十分ではないか。渋谷のように地下に貯水槽を設けた方がよいのではないか。
- ・標高の低い部分は、歴史的に豪雨対策が必要である。
- ・淡島通りから三宿まで、補助26号線の地表面を伝い、水が流れてしまう可能性はないのだろうか。

【「第2回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 補助26号線と京王井の頭線交差部のアンダーパス部分につきましては、必要に応じてポンプ排水を行うなど冠水対策を行います。
集中豪雨などの気象状況により、万が一冠水するような場合は、早期に通行止めにするなど事故防止を図ります。

(4) 道路構造について

1) 掘割部分について

意見・質問：

- ・東大側の擁壁が気になります。緑化できないでしょうか。
- ・東大側の擁壁がとても高くなりそうである。
- ・東大の擁壁の圧迫感を緩和するような工夫をして欲しい。

- 擁壁の構造については、今後、地質調査など必要な調査を行いながら、景観等にも配慮し具体的に設計していきます。

意見・質問：

- ・整備道路の掘割部分の上部に蓋をかけて、魅力ある緑豊かな公園にしたい。4.5mの建築限界であれば、蓋をかけられる空間は多少なりともあるのではないだろうか。建築限界を考慮して、どの位の範囲ならば可能なのか検討願いたい。東西住民の交流の場として、災害時の臨時の集合場所として、有効だと思っている。

- 掘割部の擁壁や蓋掛部については、今後、警視庁と協議を図りながら、横断個所など検討を進めていきます。

意見：

- ・高低差があるのでエレベーターがあると良い。
- ・京王井の頭線の掘割部は、高低差があるため、エレベーターがあるとよい。

●歩行者の動線につきましては、今後、道路構造を設計するなかで検討していきます。

2) 淡島通りへのアクセスについて

意見：

- ・「事業のあらまし・断面①-①周辺」には、「副道」からの階段が必要である。
- ・代沢 1-25、26 の間の道から淡島通りに出られる優しい階段等、確保して欲しい。
- ・淡島通りに出にくくなるので階段を使わず出やすくして欲しい。
- ・副道が行き止まり（代沢 1-25-2）なので、車道の左右に出られるようにしてください。
- ・淡島通りに出られる通路が欲しい。（バス停への近道）

●既存の交差道路との接続につきましては、今後、警視庁や世田谷区、目黒区と調整を図りながら、詳細に検討していきます

3) 街路樹・植栽帯について

意見：

- ・道路の両側に桜の木を植えて欲しい。
- ・街路樹には、①オリーブ（富士中のシンボル）、②ユズリハなどを。
- ・地域で育てていく花壇（高齢者の仕事）を作って欲しい。
- ・東大の桜並木を大切に、古い樹もたくさんあります。地域の思い出である。
- ・北沢 1 丁目公園の延長部分には東西西側斜面の桜を移植して欲しい。

●歩道部には、植樹帯を設置して、高木や低木などの街路樹を植栽し、緑の回復、緑豊かな景観の創出に努めます。

●樹種については、地域の特性や隣接する区間との統一性を考慮して選定します。

(5) 道路の横断について

○京王井の頭線南側（代沢1丁目）

意見：

- 通学する学生や沿道住民（町会）にとって、ポイントは東西の横断である。できるだけ横断箇所をたくさん設けて欲しい。
- 代沢東地区開館と富士中学校周辺に横断歩道を設けて欲しい。
- 横断歩道が必要である。歩道橋は、高齢者や子ども、車イスには無理である。
- 高齢者や子どもが安全に横断できるように青信号の時間に配慮して欲しい。
- 渡し（東西連絡）の位置はどこになるのだろうか。
- 都市計画道路の東側に学校（中学校・高等学校）が多く、横断が不便にならないようにして欲しい。
- 富士中学校や駒場学園の生徒の通学路の確保。
- 都市計画道路の西側から、下代田児童遊園にアクセスする子どもたち（インターナショナルスクールの子たちや、代沢ききょう保育園の子たち、小学生の子たちなど）が安全に横断できるようにして欲しい。

○京王井の頭線北側（北沢1丁目・駒場4丁目）

意見：

- 三角橋交差点は、どのように横断できるようになるのか。学生も多く、安全面で課題がある。
- 東大は広域避難場所であるが、アクセスしにくくなるのではないだろうか。
- 道路によって、北沢1丁目側から避難所へ行きづらくなる。

●今後、警視庁調整を図りながら、横断歩道や信号機の設置など、安全面も考慮し適切な個所で道路横断が可能となるよう検討していきます。

(6) 無電中化について

意見：電柱（電線）を埋設（地中化）して欲しい。できれば入ったところも無電柱化をして欲しい。

●今回整備する補助26号線（代沢）の都市計画道路範囲内については、良好な都市景観を創出するため、電線類を地中化します。

(7) その他

意見：

- 広い道路が出来ると、駐停車が多くなることが考えられるため対策が必要である。

● 道路交通の取締まりは警視庁が行うものですが、駐停車対策を含め協議を進めていきます。

(8) 移転を余儀なくされる方への対応について

質問・意見：

- 90歳代の方の家が立ち退きになると聞いたので、そうした方々のサポートを手厚くしていただきたいと思う。
- 近所に住み続けられることが大事である。
- 会計検査院宿舎跡地に権利者のための住宅を建てることができないだろうか。
- 事業に着手する前に計画道路に当たる世帯が移転する家（アパート等の高齢者向け住宅）を建設すべきではないですか。
- 住み慣れた場所で安心して継続して住みたい。
- 残地を活用して、権利者のための住宅を作ることはできないのだろうか。
- 移転を余儀なくされる当事者は、移転しなければならなくなる時期が、3年後なのか、5年後なのかドキドキしながら生活しなければならない。住み続けられない事が非常に悲しい。今後の生活が心配である。ただただ悲しい気持ちである。

● 今後、権利者の皆様には個別にお伺いし、ご説明させていただきます。その際、ご意見やご要望をお聞きするとともに、建物等の調査をさせていただきます。

5. 区からの回答

意見：

- ・住民（高齢者を中心とした）に暮らしやすい街づくり。
- ・安全・安心に暮らせる（特に防災）街づくり。
- ・年配者にとっては、坂などがありどうすればよいか。
- ・将来どのような街になったらよいかは、若い次の世代の思いも尊重されるべき。
- ・よく考えた方がよい。今のままでよい。

●新しく整備されようとしている道路沿道の将来像につきましては、これまで皆様からいただいてきた街の現状と課題を踏まえながら、今後、街づくり懇談会において検討を深めていきます。

意見：

- ・商業地区になってしまう部分もあるのかと思います。これだけ大きな道路が出来るので、仕方がないかと思います。
- ・交差点周辺は、商店中心の街づくりも良いと思います。
- ・子どもの時から住んでいて、ここが今まで静かで住みよい町だったことに改めて実感させられた。できれば商業地区にならず、今まで通り静かな住宅街であって欲しいと思った。
- ・今住んでいる方たちが、ずっとこのままで道路だけができるという状況にはならないと思う。
- ・道路ができて交通至便な地域になったら、新しい住宅地として開発される可能性もでてくる。マンションが建ち並ぶ地域にもなり得る。
- ・住宅地としての、今の状況は変わらないように。

●現在、地区の大部分は、第一種低層住居専用地域であり、主に住宅しか建築することができません。そこで、新しく整備されようとしている道路沿道に、将来的にどのような用途の建物があると良いのか、今後、街づくり懇談会で検討を深めていきます。

意見：

- ・地権者住宅などには、少し緩和をして欲しい。住み慣れた地域に住み続けるために地権者のためのマンション等を建てるのであれば、そういう建物には少し規制を緩和してもよいのではないだろうか。
- ・高さ規制だけは緩めない様お願いします。建蔽率、容積率の範ちゅうでお願いします。高さ規制は変えても救済策にはなりません。

●現在、沿道地区の大部分は、建築物の高さの最高限度が10mとなっています。沿道地区における将来の建築物の高さの最高限度につきましては、今後の街づくり懇談会において、沿道の将来像を皆様との間で共有した上で、「将来的にも現状のままだとよとするのか」、「緩和を認めるとすれば、どれ位の高さまで許容することができるのか」、今後の街づくり懇談会において、検討を深めていきます。

質問：

- 旧国家公務員住宅用地は、これから担う幼児・児童が集う場として、「代沢の森・緑の公園」をつくってはどうか？災害倉庫やマンホールトイレなど、富士中に次ぐ第2の避難所としても機能させることができると思います。国有地であっても、世田谷区が無償貸付を受けて管理している公園用地としては、「三宿の森緑地」などの前例もあります。

●旧国家公務員住宅用地につきましては、国は令和元年5月31日現在、「本財産に係る土地利用のあり方を含め、処分方針検討中」として、処分を保留している状況であり、現時点において、再開発計画は未定です。

意見：

- 模型が出来たことにより、議論が活発になり効果があった。
- 模型を確認できて良かった。
- 第3回街づくり懇談会になって模型も出来て意見も具体的になり成果が上がったと思う。
- 有意義な会でした。次回もよい会合となると思います。模型は、素晴らしいです。
- 模型を見てよく計画が理解できた。同時に問題点も多少ある。(意見として述べた。)
- 模型の開示によって充実した懇談会になりました。今後とも議論の発展を期待しています。
- 模型を作っただけ、イメージがつかめました。全く違う町になってしまう事が実感できました。区の職員の方々が話し合いの中に入っただけ、みんなが意見を出せました。
- やっと模型が出来て具体的な“街づくり”の話しが進展したと思うし、このテーブルは反対の方はいらっしやらない。
- 代沢1丁目の方々の関心が高まってきて、今の街のよさを維持したいとの気持ちで、前向きな意見が多かったと思う。

●今後も、皆様に建設的な意見交換をしていただけるよう、工夫をしていきます。

意見：

- 時間が限られているので、(前回の)振り返りにあまり時間を割かないほうがいいのではないかと。添付されているので各自読んでもらえればいいのかではないだろうか。

